

教育長	部長	課長	課長補佐	係長	係

記録者
武藤

学校給食センター会議録

【南部センター】

会議名	令和7年度第2回佐久市学校給食南部センター献立委員会	
開催日時	令和8年2月12日（木） 午後4時00分～4時50分	
会議場所	学校給食南部センター 2階研修室	
出席者	献立委員 18名（欠席者3名） 事務局 3名	（別紙出欠表のとおり）

議事録	
1 開会	進行 武藤
2 委員長あいさつ	高橋委員長（野沢中学校長） 1年のまとめの時期。今日の委員会は今年度の反省と来年度に向けた内容になるが、よろしくお願ひします。
3 会議事項	議事進行 高橋委員長 （1）令和7年度学校給食反省について（荻原学校栄養職員・工藤栄養士） ・教職員を対象とした、1年間の反省と来年度への要望のアンケート結果と要望に対するセンターの回答について説明。 ・教職員及び保護者を対象とした、食物アレルギー対応についてのアンケート結果とセンターの回答、今後の対応について説明。 （2）学校給食エネルギー給与目標量（食事摂取基準）の算定について （片桐栄養教諭） 7校の児童生徒の身長体重データから算出した推定エネルギー必要量と今後のセンターの対応について説明。
質問・意見等	
質問	（2）の5の考察で「栄養素の過不足については残食量も含め献立に反映していく必要がある」とあるが、痩身・肥満児に個別に対応しているのか。
回答	現在は該当者はいないが、アセスメントを行い該当者がいた際には学校に呼びかけ、連携をとりながら成長曲線に合うように対応を考えたい。
委員長まとめ	子どもたちは給食を楽しみにしている。献立について様々な要望が出されていたが、物価高騰の中とても工夫して給食を提供していただいている。また、食物アレルギーは命に関わる危険性があるが、非常に気を配り対応いただいている。引き続きお願ひしたい。推定エネルギー必要量は国の基準と差異がなく学校給食摂取基準どおりに献立作成をしているということだが、今後も学校とセンターで連携して対応をお願ひしたい。
	（3）その他 ・令和8年度給食費について

	・児童生徒が給食について家でどのような話をしているか、事務局より質問。 各校PTA副会長の委員が、順に発言。
(PTA副会長)	あまり美味しくない、ご飯の方がお腹が空かない、との理由でパンの日を減らしてほしいと言っていた。小諸市はパンが週1回で、麺はあまり出ないと聞いている。また、学校に勤務しているが、牛乳の残量が多いので毎日出さずにパンの日のみにすれば、その分のお金がおかずに使えるのではないか。
(給食主任)	発言のあった委員と同じ学校。牛乳はクラスによって残量が違う。担任の指導によるところも大きく、牛乳の大事さの理解が行き届き、ほとんど残さないクラスもある。
(給食主任)	中学校は牛乳はほとんど残らない。
(委員長)	小学1年生も中学3年生も同量なので仕方がない面もあるが、担任によって指導に差が出ないように先生方にも頑張ってもらいたい。
(PTA副会長)	中学校男子で運動部。パンはテンションが下がる、揚げパンなどの甘いパンはお菓子感があり、ご飯を食べた気がしないと言っていた。
(PTA副会長)	サラダが美味しいと聞いている。ご飯やパンについては聞いていないが、ソフト麺は好きで楽しみにしている。キムチの味は食べづらいようだ。ミルクを飲みたいと言っていた。
(事務局)	ソフト麺は東信の中で1社しかやっておらず、他市も含めて対応しているので、回数を増やすことが難しい。
(PTA副会長)	牛乳は好きで、家で飲むよりおいしいと言っている。コッペパン、米粉パンが多いので、予算のこともあると思うがキャロットパン等のパンも増やしてほしい。新作も欲しい。肉の大きさにバラつきがあると言っていたが、小さいとかわいそうなので均等をお願いしたい。昔は納豆が頻繁に出ていたが今は出さないのか。
(事務局)	今年度も出していない。子どもの意見を参考に、検討したい。
(PTA副会長)	中学生と小学生の男の子がいる。家では偏食だが、給食についてはポジティブな意見が多く、楽しんできちんと食べてくれている。
委員長まとめ	お話を聞いて、子どもたちがしっかり食べていることがうかがえた。要望にこの場で一つ一つ回答していくことは難しいが、今後の献立の作成に活かしていただきたい。
9 閉会	